

美味しい給食を いつもありがとう。



手前左から 辻敦子さん 小室あさ子さん
二列目左から 平井トヨ子さん 田村賢枝さん 岩橋有美さん

「おいしい!!」
私が初めて石神中の給食を食べたときの感想でした。ところが、変われば具材も調理方法も異なり、更に新鮮な生野菜など長きに渡る給食生活も、新たな刺激で始まりました。

石神中の給食はメニューも豊富でとにかく美味しいということです。本当に毎日の給食が楽しみで、毎日丁寧な給食は、毎日の調理員さんのおかげ様なのです。今からの暑い時期は地獄のような暑さだと思えます。衛生面の確保のために窓も開けられない状況でクーラーもなかなか効きません。そんな中でも私たちのために美味しい給食を作ってくれています。感謝の気持ちを込めて、美味しく食べていきたいですね。



【給食試食会のお知らせ】

日時 7月14日(金) 11:45

場所 石神中多目的室

参加資格 自由!!

メニュー

揚げパン (子どもに人気)
サラダ モロヘイヤスープ

※20日に申込用紙を配布してあります。
ランチ感覚でふるってご参加下さいませ。

詳しくは石神中学校岡本まで

【給食の歴史】

- 1889年(明治22年) - 山形県鶴岡町(現鶴岡市)の大督寺内の私立忠愛小学校においておにぎり・焼き魚・漬け物といった昼食を貧困児童に与えたのが日本で初めての給食とされている(ちなみに鶴岡市では12月になると給食記念日と言う事で当時の給食を再現されたものが出される)。
- 1944年(昭和19年) - 6大都市の小学生児童約200万人に対し、米・みそ等を特別配給して学校給食を実施した。
- 1946年(昭和21年)12月24日 - 戦時中中断されていた学校給食が東京、神奈川、千葉で試験的に再開される。
- 1947年(昭和22年)1月 - 主要都市の約300万人の児童にララ物資を利用した学校給食が開始される。
- 1949年(昭和24年) - ユニセフ(国連児童基金)から脱脂粉乳が贈られユニセフ給食が行われた。
- 1950年(昭和25年) - アメリカ合衆国から小麦粉が贈られ都市で完全給食が行われた。
- 1954年(昭和29年) - 保護者においても好評で存続が望まれ、学校給食は教育の一環として学校給食法施行。
- 1956年(昭和31年) - 学校給食法一部改正。中学校にも適用されるようになった。「夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律」が公布された。

石神夢現

Ishigami MUGEN

発行: 石神中学校

【今後の行事】

7月1日(土)
区連プレク大会

7月20日(木)
1学期終業式

7月22日(土)～
県総体

8月17日(木)18日(金)
学力強化事業(3年)

8月25日(金)
2学期始業式・俳写コンクール

8月26日(土)
PTA奉仕作業・リサイクル活動

8月28日(月)
夏休み課題テスト
教育相談～9月1日

9月6日(水)
相双地区駅伝大会

9月21日(木)・22日(金)
体験学習

10月6日(金)
中間テスト

10月28日(土)
文化祭

11月21日(火)～
2学期期末テスト

11月29日(水)～
三者懇談